


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



1月の銅の概況及び2月の見通し (3)

予想レンジ		
LME セツル	8,500-9,500ドル	↑
建 値	131万円-156万円	↑
為 替	150円~160円	円高
(1か月間TTM)		

■国内概況まとめ

◆自動車生産

生産動態統計によると、12月の自動車生産台数は前年比-8.5%の64万5,363台。輸出は前年同月比-7.8%の37万9,074台。

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+10.1%の23万8,906台。

◆住宅着工戸数

12月の新設住宅着工は、持家、貸家が増加したが、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比2.5%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.6%の増加となった。

- 新設住宅着工戸数は62,957戸
前年同月比2.5%減、8か月連続の減少
- 新設住宅着工床面積は4,893千㎡
前年同月比2.5%減、8か月連続の減少
- 季節調整済年率換算値では787千戸
前月比1.6%増、3か月ぶりの増加

◆伸銅品生産

12月伸銅品生産量速報値は5万1,940トン、前年同月比2.4%減少した。2か月連続のマイナスとなった。12月の伸銅品の生産量は、14品目中8品目が前年同月実績を上回った。ただ、上回った品目のうち、銅管を除くと、比較的月の生産量が少ない品目が伸びて、主力の銅条などが下回った。

伸銅品の各用途別の需要概況は、あまり良い状況にない。これまで伸銅品生産のけん引役だった日系の自動車生産の勢いが、中国向けの不振など減速感が出てきた。半導体向けも伸銅品の需要に直結しやすいリードフレームを使う製品が回復しない。また住宅着工も回復しない。

◆銅 条

同比2か月連続マイナス。海外市場での日系の自動車販売不振の影響を受けるようになってきた。まだ生産量が落ち込んでいないが、自動車関連による上振れ要因が無くなってきた。

半導体は、リードフレームを使った民生用の需要が伸びない。また、データセンターや車載向けの需要回復が鈍くなった。情報家電や通信機器関連では、スマートフォン向けだけが堅調で、それ以外の回復が遅れている。

◆黄銅棒

同比5か月連続マイナス。新規住宅着工件数が伸びない。リフォームによる非接触水洗と温水便座向けの需要があるが、全体をプラスに底上げできない。

◆電 線

前年比-11.7%の47300 t
うち 国内-11.7% 輸出が -9.6%

◆輸 出

電気銅 -13.7% 4万1,035 t
スクラップ -35.9% 2万5,993 t

◆輸 入

電気銅 +531.8% 139 t
スクラップ +48.5% 1万1,859 t



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本 社 大阪市浪速区難波中 1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工 場 大阪市浪速区稲荷 1-11-5
電話 06-6561-7331~2